

韓国の捕獲野鳥で 高病原性鳥インフルエンザの感染確認！

【概要】

- ・11月1日、韓国当局が10月28日に忠清南道天安市で捕獲された野鳥（オシドリ）がH5N1亜型の高病原性鳥インフルエンザに感染していたことが確認された旨プレスリリース。
- ・韓国においては本年9月以降、野鳥の糞便からH5亜型の鳥インフルエンザウイルスの検出が複数例確認されている。
- ・アジア、欧州等においては、本病の野鳥及び家きんにおける感染が継続的に確認されており、我が国へ飛来する渡り鳥が本病のウイルスを保有する可能性は高く、

今シーズンにおいても厳重な警戒が必要。

<生産者の皆様へ>

- ・これから渡り鳥の本格的な飛来を迎えます。
- ・本病発生防止のため、各自、飼養衛生管理基準の内容を改めて点検し、不遵守の場合には大至急改善してください。

※毎日の健康観察を行い、死亡羽数の増加等異状を見つけた場合には速やかに家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

家畜の病気等についてのお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話…0551-22-0771 FAX…0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は…090-5564-1018